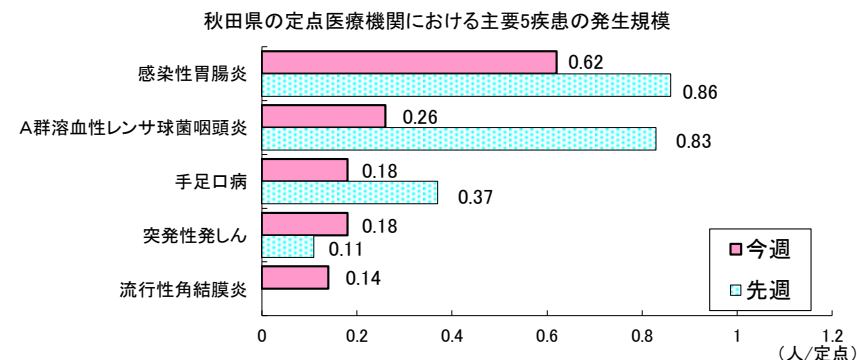




【第33週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で28%減少しています。保健所別では、北秋田、横手で増加、能代で同規模、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で69%減少しています。保健所別では、横手で増加、秋田中央で同規模、秋田市、大仙で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で51%減少しています。保健所別では、秋田市、大館で増加、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢				
	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減		
RSウイルス感染症																																
インフルエンザ																																
咽頭結膜熱	0.11	0.06	↓												0.50		↓										0.50	0.50				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	0.26	↓	2.57	0.33	↓									1.50	1.50				1.25		↓			0.33	↑						
感染性胃腸炎	0.86	0.62	↓	1.29	0.67	↓	0.75		↓	0.50	1.50	↑	1.67	1.67				2.25	1.75	↓	0.25		↓			0.33	↑	0.50	0.25	↓		
水痘	0.06	0.06					0.50	0.50																								
手足口病	0.37	0.18	↓	0.29	0.33	↑			0.25	↑														0.25		↓	2.33	1.00	↓	0.75		↓
伝染性紅斑	0.03	0.03																0.25		↓				0.25		↑						
突発性発しん	0.11	0.18	↑	0.29	0.50	↑	0.25	0.25			0.50	↑					0.25		↑	0.25		↓										
ヘルパンギーナ	0.06		↓														0.25		↓				0.25		↓							
流行性耳下腺炎	0.03		↓																0.25		↓											
川崎病	0.03		↓	0.14		↓																										
急性出血性結膜炎									*	*			*	*			*	*									*	*				
流行性角結膜炎		0.14	↑		0.33	↑			*	*			*	*			*	*									*	*				
細菌性髄膜炎																	*	*														
無菌性髄膜炎																	*	*														
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.25	↑		1.00	↑				1.00	1.00						*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																	*	*														
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																	*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↑」は増加を、「↓」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所、能代保健所、秋田中央保健所管内から各1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から3人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から2人、梅毒が大館保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から4人、能代保健所管内から2人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-32週	33週	
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	10303	58	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	1		
	細菌性赤痢	55		
	腸管出血性大腸菌感染症	1309	20	3
	腸チフス	19		
四類	パラチフス	7		
	E型肝炎	281	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	90		
	エキノコックス症	10		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	3		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	44		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-32週	33週	
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	109	8	
	デング熱	41		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	151		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	3		
	マラリア	15		
	野兔病			
	ライム病	16		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症		1154	7	
レプトスピラ症		1		
ロッキー山紅斑熱				
アメーバ赤痢		362		
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		151	2	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		979	8	2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		20		
急性脳炎		357	4	
クリプトスポリジウム症		4		
クロイツフェルト・ヤコブ病		91	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		476	3	
後天性免疫不全症候群		612	1	
ジアルジア症		15		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		183		
侵襲性髄膜炎菌感染症		11		
侵襲性肺炎球菌感染症		1110	9	
水痘(入院例に限る)		221	7	
先天性風しん症候群	1			
梅毒	3407	41	2	
播種性クリプトコックス症	86	1		
破傷風	63	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	76			
百日咳	2625	9		
風しん	85			
麻しん	12			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	7			
指定	新型コロナウイルス感染症	35	7	

トピック

<夏季の感染性胃腸炎>

夏季は感染性胃腸炎の報告数が比較的少なくなりますが(図)、この時期は細菌への感染事例が多くなります。細菌の種類によっては、重篤な症状を呈する場合がありますため注意が必要です。

■主な病原体

感染性胃腸炎の原因となる細菌としては、カンピロバクター、サルモネラ、エルシニアなどがあります。多くの場合は、汚染された食品や水を介した経口感染ですが、ペット等の動物との接触により感染する場合があります。

■症状

主な症状は腹痛や下痢ですが、発熱を伴うことが多く、菌によっては血便を呈する場合があります。特に、抵抗力の弱い小児や高齢者では重症化する危険性があります。

■予防のポイント

1) 手洗いの徹底

トイレの後や調理・食事の前、調理中に生肉を扱った後は必ず手を洗いましょう。また、動物を触った後や野外での活動後も十分に手を洗うようにしましょう。

2) 食品の低温管理

気温が高いと細菌が食品中で増殖しやすくなります。買った食品はすぐに冷蔵庫に入れるよう心掛けましょう。また、調理した食品は常温のまま放置しないようにしましょう。

3) 調理器具の消毒

肉を焼く時に使用する箸やトングには、つまんだ生肉から細菌がついてしまいます。食器用の食器類とは別に用意しましょう。また、生肉を扱ったまな板、包丁類は熱湯などにより十分消毒しましょう。

4) 加熱調理などの徹底

ほとんどの細菌は高温で死滅するため、肉や魚を調理する際は中心まで熱が伝わるように十分に加熱しましょう。また、井戸水や湧水・沢水を利用する場合は、飲用できるか確認してから使用しましょう。

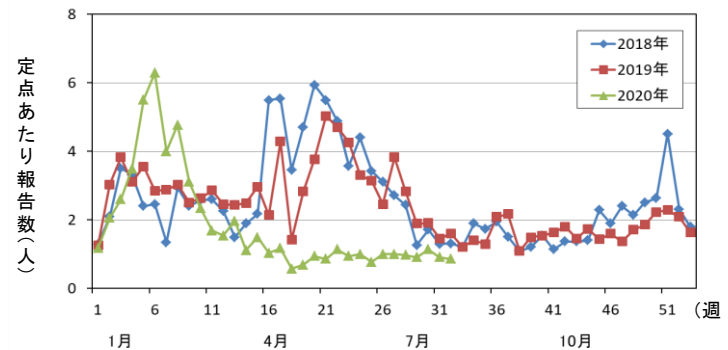


図 秋田県における感染性胃腸炎の患者報告数



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		